

# 冬春期出しをめざした低温性花き類の栽培技術

福島県農業総合センター 作物園芸部

## 1 部門名

花き - その他の1・2年草 - 栽植様式・栽植密度

## 2 担当者

宗方宏之・鈴木安和・矢島典子

## 3 要旨

無加温栽培条件下で冬春期(11~5月)出荷が可能な3品目について、播種時期・栽植密度及び仕立て法を検討した。

- (1) ギリア・カピタータは、9月播種で1月から商品性の高い切り花を採花できた。この場合、栽植密度は株間及び条間が15cmの摘心栽培が適していた。
- (2) セントウレア・シアヌスは、9月播種で12月から商品性の高い切り花を採花できた。この場合、栽植密度は株間及び条間15cmの摘心栽培が適していた。
- (3) カンパニユラ・メジュームは、9月播種で2月から商品性の高い切り花を採花できた。この場合、栽植密度は株間及び条間が15cmの無摘心栽培が適していた。
- (4) いずれの栽培においても22:00~2:00の間、100V 75Wの白熱電球(2m間隔で設置)で長日処理をする必要がある。

表1 上位等級品<sup>1)</sup>の時期別採花本数(ギリア・カピタータ)

栽植密度 (cm)	播種 期	摘 心	採花本数(本/m <sup>2</sup> )				切り 花長 (cm)	切り 花重 (g)	総合 評価 <sup>2)</sup>	
			1月	2月	3月	4月				計
10×10	9	無	90	180		10	280	66.0	24.9	
15×15	9	無	18	58	18		93	62.3	20.3	×
15×15	9	有	120	80			200	87.9	35.7	

<sup>1)</sup>総採花本数のうち、切り花長60cm以上、切り花重30g以上のもの。

<sup>2)</sup>切り花品質、採花時期及び上位等級品採花本数から判断した。



図1 ギリア・カピタータ

表2 上位等級品<sup>1)</sup>の時期別採花本数(セントウレア・シアヌス)

栽植密度 (cm)	播種 期	摘 回 数	採花本数(本/m <sup>2</sup> )					切り 花長 (cm)	切り 花重 (g)	総合 評価 <sup>2)</sup>	
			12月	1月	2月	3月	4月				計
15×15		1	111	120	9	13	18	271	106.2	34.5	
15×15	9	2	31	40	4		13	89	87.3	17.4	
20×40	9	0	8	1	1	5	1	16	83.4	19.0	×
20×40		1	15	1	1			18	89.4	29.6	×
20×40		2	11	1		4	1	18	85.3	19.0	×

<sup>1)</sup>総採花本数のうち、切り花長80cm以上、切り花重30g以上のもの。

<sup>2)</sup>切り花品質、採花時期及び上位等級品採花本数から判断した。



図2 セントウレア・シアヌス

表3 上位等級品<sup>1)</sup>の時期別採花本数(カンパニユラ・メジューム)

栽植密度 (cm)	播種 期	摘 心	採花本数(本/m <sup>2</sup> )				切り 花長 (cm)	切り 花重 (g)	総合 評価 <sup>2)</sup>
			2月	3月	4月	計			
10×10	9	無	110			110	88.0	62.3	
15×15	9	無	80	4	36	120	74.5	67.1	
15×15		有		13		13	73.5	22.2	×

<sup>1)</sup>総採花本数のうち、切り花長70cm以上、切り花重50g以上のもの。

<sup>2)</sup>切り花品質、採花時期及び上位等級品採花本数から判断した。



図3 カンパニユラ・メジューム

## 4 主な参考文献・資料

- (1) 平成21年度試験成績概要集(2010)